

# 市内経営動向調査 平成29年7月～9月期 (第2四半期)

- ① 調査の時期 平成29年10月 ② 調査の期間 平成29年7月～9月  
③ 調査対象企業 280社 ④ 回収状況 140社 (回答率50.0%)  
⑤ 調査内容 建設業、製造業、卸・小売業、サービス業を営む企業に対して、佐世保の景況感、  
業界の景況感、前年同期比売上動向 (H28.7月～9月)、前年同期比採算動向  
(H28.7月～9月) を調査

※DI=ディフュージョン・インデックスとは《「増加・好転の割合」－「減少・悪化の割合」》

## 【総括】

### ○全業種

全業種では、前年同期比の採算動向を除き、DI値の改善がみられた。  
前回調査では、佐世保の景況感、業界の景況感ともにDI値は悪化した。今回建設業を除いた製造業、卸・小売業、サービス業の改善が全業種を牽引し改善に転じた。なお前年同期比売上動向については、昨年は熊本地震による影響も見られているため改善しているものの、採算動向については全ての業種において悪化に転じていることから、企業の利益確保を課題とする姿勢が窺え、今後の見通しの実体は横ばいを見込む。  
また、経営上の問題点としては、依然として人手不足(人材採用の難航含む)を問題とする声が多く寄せられた。他、従業員の高齢化や後継者対策に加え、今後の消費増税を懸念する声も寄せられた。  
全国的には、輸出や設備投資の堅調な推移、秋の行楽シーズンに伴う観光需要の拡大、消費の持ち直しに期待感が窺える。一方で人手不足の影響拡大に加え、消費者の低価格志向など先行きへの懸念材料を指摘する声も多い。そのため、景況感は総じて緩やかに回復が続くものの先行きへの慎重な見方が続いている。

### ○佐世保市内の景況感

DI値は、製造業、卸・小売業、サービス業において改善したものの、建設業において悪化した。  
建設業では、▲19.6(前回比-0.6ポイント)と若干の悪化であり、他の業種と比較して高水準を維持している。  
他の業種では、いずれも業界の動向に比例して大きく改善する結果になった。特に製造業では、▲14.8(前回比+11.0ポイント)と直近10年間で最も高い数値である。

### ○市内業界の景況感

DI値は、製造業、卸・小売業、サービス業において改善したものの、建設業において悪化した。  
製造業では、▲22.2(前回比+13.3ポイント)と改善に転じ、サービス業では、▲25.8(前回比+18.4ポイント)と改善に転じた。緩やかに回復基調が続いていた卸・小売業でも、▲39.1(前回比+5.0ポイント)と4期連続で改善の動きとなったが、他の業種と比較して低い数値のため今後の動向に留意が必要である。

### ○前年同期比の売上動向









































DI値は、建設業、製造業、卸・小売業において改善したものの、サービス業において悪化した。  
佐世保の景況感で改善の動きが見られた製造業では、『増加』『やや増加』と回答した企業が13.9%増加し、0(前回比+19.3ポイント)と大きく改善した。またサービス業では▲22.6(-16.7ポイント)と大きく悪化。インバウンド(観光客)の減少を問題とする声もあり、外部環境の好転に期待したい。

### ○前年同期比の採算動向

DI値は、全ての業種において悪化した。  
依然として、人手不足の影響拡大による労務費の上昇や原材料費の上昇、消費者の低価格志向を指摘する声も寄せられた。全国的にもこれらの要因が足かせとなる中、先行きは懸念材料が多く、先行きへの慎重な見方が続く。

①佐世保の景況感について				②市内業界の景況感				③昨年同期比の売上の動向は？				④昨年同期比の採算動向は？			
<b>全業種 DI値 ▲ 22.3</b>				<b>全業種 DI値 ▲ 26.5</b>				<b>全業種 DI値 ▲ 13.6</b>				<b>全業種 ▲ 21.5</b>			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	4	2.86%	2.8	1.好転	3	2.16%	2.2
2.良い	5	3.60%	3.6	2.良い	9	6.43%	6.4	2.やや増加	26	18.57%	18.6	2.やや好転	15	10.79%	10.8
3.普通	98	70.50%	70.5	3.普通	85	60.71%	60.7	3.変わらない	61	43.57%	43.6	3.変わらない	73	52.52%	52.5
4.悪い	32	23.02%	23.0	4.悪い	41	29.29%	29.3	4.やや減少	33	23.57%	23.6	4.やや悪化	41	29.50%	29.5
5.大変悪い	4	2.88%	2.9	5.大変悪い	5	3.57%	3.6	5.減少	16	11.43%	11.4	5.悪化	7	5.04%	5.0
<b>建設業 DI値 ▲ 19.6</b>				<b>建設業 DI値 ▲ 17.0</b>				<b>建設業 DI値 ▲ 9.8</b>				<b>建設業 DI値 ▲ 12.1</b>			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	1	2.44%	2.4	1.好転	2	4.88%	4.9
2.良い	1	2.44%	2.4	2.良い	4	9.76%	9.8	2.やや増加	7	17.07%	17.1	2.やや好転	4	9.76%	9.8
3.普通	31	75.61%	75.6	3.普通	26	63.41%	63.4	3.変わらない	21	51.22%	51.2	3.変わらない	24	58.54%	58.5
4.悪い	7	17.07%	17.1	4.悪い	8	19.51%	19.5	4.やや減少	7	17.07%	17.1	4.やや悪化	9	21.95%	21.9
5.大変悪い	2	4.88%	4.9	5.大変悪い	3	7.32%	7.3	5.減少	5	12.20%	12.2	5.悪化	2	4.88%	4.9
<b>製造業 DI値 ▲ 14.8</b>				<b>製造業 DI値 ▲ 22.2</b>				<b>製造業 DI値 0.0</b>				<b>製造業 DI値 ▲ 11.1</b>			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	3	11.11%	11.1	1.好転	1	3.70%	3.7
2.良い	1	3.70%	3.7	2.良い	3	11.11%	11.1	2.やや増加	6	22.22%	22.2	2.やや好転	5	18.52%	18.5
3.普通	21	77.78%	77.8	3.普通	15	55.56%	55.6	3.変わらない	9	33.33%	33.4	3.変わらない	12	44.44%	44.5
4.悪い	5	18.52%	18.5	4.悪い	9	33.33%	33.3	4.やや減少	6	22.22%	22.2	4.やや悪化	8	29.63%	29.6
5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.減少	3	11.11%	11.1	5.悪化	1	3.70%	3.7
<b>卸・小売業 DI値 ▲ 32.5</b>				<b>卸・小売業 DI値 ▲ 39.1</b>				<b>卸・小売業 DI値 ▲ 19.5</b>				<b>卸・小売業 DI値 ▲ 30.0</b>			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	0	0.00%	0.0	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	1	2.50%	2.5	2.良い	1	2.44%	2.4	2.やや増加	8	19.51%	19.5	2.やや好転	3	7.50%	7.5
3.普通	25	62.50%	62.5	3.普通	23	56.10%	56.1	3.変わらない	17	41.46%	41.5	3.変わらない	22	55.00%	55.0
4.悪い	12	30.00%	30.0	4.悪い	15	36.59%	36.6	4.やや減少	11	26.83%	26.8	4.やや悪化	12	30.00%	30.0
5.大変悪い	2	5.00%	5.0	5.大変悪い	2	4.88%	4.9	5.減少	5	12.20%	12.2	5.悪化	3	7.50%	7.5
<b>サービス業 DI値 ▲ 19.3</b>				<b>サービス業 DI値 ▲ 25.8</b>				<b>サービス業 DI値 ▲ 22.6</b>				<b>サービス業 DI値 ▲ 32.2</b>			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	0	0.00%	0.0	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	2	6.45%	6.5	2.良い	1	3.23%	3.2	2.やや増加	5	16.13%	16.1	2.やや好転	3	9.68%	9.7
3.普通	21	67.74%	67.7	3.普通	21	67.74%	67.8	3.変わらない	14	45.16%	45.2	3.変わらない	15	48.39%	48.4
4.悪い	8	25.81%	25.8	4.悪い	9	29.03%	29.0	4.やや減少	9	29.03%	29.0	4.やや悪化	12	38.71%	38.7
5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.減少	3	9.68%	9.7	5.悪化	1	3.23%	3.2

市内経営動向調査 平成 29 年度第 2 四半期（平成 29 年 7 月～9 月）DI 景況感 ※DI 値は平成 29 年第 1 四半期（平成 29 年 4 月～6 月）と比較

	佐世保の景況感	業界の景況感	前年同期比売上げ動向	前年同期比採算動向
全業種	DI ▲34.7 ⇒ ▲22.3 ↗  ⇒  ↑	DI ▲31.8 ⇒ ▲26.5 ↗  ⇒  ↑	DI ▲19.3 ⇒ ▲13.6 ↗  ⇒  ↑	DI ▲15.8 ⇒ ▲21.5 ↗  ⇒  ↓
建設業	DI ▲19.0 ⇒ ▲19.6 ↗  ⇒  ↓	DI ▲9.5 ⇒ ▲17.0 ↗  ⇒  ↓	DI ▲19.1 ⇒ ▲9.8 ↗  ⇒  ↑	DI ▲11.9 ⇒ ▲12.1 ↗  ⇒  ↓
製造業	DI ▲25.8 ⇒ ▲14.8 ↗  ⇒  ↑	DI ▲35.5 ⇒ ▲22.2 ↗  ⇒  ↑	DI ▲19.3 ⇒ 0.0 ↗  ⇒  ↑	DI ▲3.3 ⇒ ▲11.1 ↗  ⇒  ↓
卸・小売業	DI ▲50.0 ⇒ ▲32.5 ↗  ⇒  ↑	DI ▲44.1 ⇒ ▲39.1 ↗  ⇒  ↑	DI ▲33.4 ⇒ ▲19.5 ↗  ⇒  ↑	DI ▲27.4 ⇒ ▲30.0 ↗  ⇒  ↓
サービス業	DI ▲47.1 ⇒ ▲19.3 ↗  ⇒  ↑	DI ▲44.2 ⇒ ▲25.8 ↗  ⇒  ↑	DI ▲5.9 ⇒ ▲22.6 ↗  ⇒  ↓	DI ▲20.6 ⇒ ▲32.2 ↗  ⇒  ↓



DI100～81



DI80～41



DI40～11



DI10～▲10



DI▲11～▲40

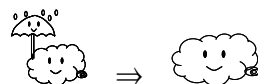


DI▲41～▲80



DI▲81～▲100

DI ▲30.0⇒▲10.0 ↗ (平成 21 年度第 1 四半期～平成 29 年度第 2 四半期の傾向)



↑ (平成 29 年度第 1 四半期と平成 29 年度第 2 四半期との比較)

## 【概 況】

(全業種) ※ ( ) 内は前回調査値

### ① 市内の景況感について

「大変良い」0% (0%)、「良い」3.6% (1.4%)、「普通」70.5% (62.5%)、「悪い」23.0% (33.3%)、「大変悪い」2.9% (2.8%) となり、DIは▲22.3 (▲34.7) と12.4ポイント改善した。業種別DIでは、製造業、卸・小売業、サービス業でプラスに作用し、建設業ではマイナスに作用した。

### ② 市内における業界の景気動向について

「大変良い」0% (0%)、「良い」6.4% (4.3%)、「普通」60.7% (59.6%)、「悪い」29.3% (34.0%)、「大変悪い」3.6% (2.1%) となり、DIは▲26.5 (▲31.8) と5.3ポイント改善した。業種別DIでは、製造業、卸・小売業、サービス業でプラスに作用し、建設業ではマイナスに作用した。

### ③ 前年同期（平成28年7月～9月）比の売上動向について

「増加」2.8% (0.7%)、「やや増加」18.6% (17.1%)、「変わらない」43.6% (45.1%)、「やや減少」23.6% (27.1%)、「減少」11.4% (10.0%) となり、DIは▲13.6 (▲19.3) と5.7ポイント改善した。業種別DIでは、建設業、製造業、卸・小売業でプラスに作用し、サービス業ではマイナスに作用した。

### ④ 前年同期（平成28年7月～9月）比の採算動向について

「好転」2.2% (0.7%)、「やや好転」10.8% (13.0%)、「変わらない」52.5% (56.8%)、「やや悪化」29.5% (23.7%)、「悪化」5.0% (5.8%) となり、DIは▲21.5 (▲15.8) と5.7ポイント悪化した。業種別DIでは、全ての業種でマイナスに作用した。

《業種別概況》 ※（ ）内は前回調査値

**(建設業)** 回答：78社中41社、回答率52.6%

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」2.4% (2.4%)、「普通」75.6% (76.2%)、「悪い」17.1% (16.7%)、「大変悪い」4.9% (4.7%) となり、DIは▲19.6 (▲19.0) と0.6ポイント悪化した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」9.8% (11.9%)、「普通」63.4% (66.7%)、「悪い」19.5% (16.7%)、「大変悪い」7.3% (4.7%) となり、DIは▲17.0 (▲9.5) と7.5ポイント悪化した。

○前年同期比の売上げは、「増加」2.4% (0%)、「やや増加」17.1% (9.5%)、「変わらない」51.2% (61.9%)、「やや減少」17.1% (16.7%)、「減少」12.2% (11.9%) となり、DIは▲9.8 (▲19.1) と9.3ポイント改善した。

○前年同期比の採算動向は「好転」4.9% (0%)、「やや好転」9.8% (7.1%)、「変わらない」58.5% (73.9%)、「やや悪化」21.9% (9.5%)、「悪化」4.9% (9.5%) となり、DIは▲12.1 (▲11.9) と0.2ポイント悪化した。

#### 《主な自由意見》

##### ○昨年同期の売上動向

好転要因では、公共工事を含む受注の増加などの回答があった。

悪化要因では、公共工事を含む受注数の減少や発注額の減少、入札競争の激化などの回答があった。

##### ○昨年同期の採算動向

好転要因では、受注増加や稼働率の向上などの回答があった。

悪化要因では、受注金額の低下や労務費、下請け代金の増加、大型工事の減少などの回答があった。

##### ○経営上の問題

人材不足や後継者対策、従業員の高齢化、若手技術者の指導を問題視する声が寄せられた。

(製造業) 回答：64社中27社、回答率42.2%

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」3.7% (3.2%)、「普通」77.8% (67.8%)、「悪い」18.5% (29.0%)、「大変悪い」0% (0%) となり、DIは▲14.8 (▲25.8) と11.0ポイント改善した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」11.1% (0%)、「普通」55.6% (64.5%)、「悪い」33.3% (35.5%)、「大変悪い」0% (0%) となり、DIは▲22.2 (▲35.5) と13.3ポイント改善した。

○前年同期比の売上げは、「増加」11.1% (0%)、「やや増加」22.2% (19.4%)、「変わらない」33.4% (41.9%)、「やや減少」22.2% (35.5%)、「減少」11.1% (3.2%) となり、DIは0 (▲19.3) と19.3ポイント改善した。

○前年同期比の採算動向は「好転」3.7% (0%)、「やや好転」18.5% (20.0%)、「変わらない」44.5% (56.7%)、「やや悪化」29.6% (20.0%)、「悪化」3.7% (3.3%) となり、DIは▲11.1 (▲3.3) と7.8ポイント悪化した。

《主な自由意見》

○昨年同期の売上動向

好転要因では、売上の増加や新規取引先の増加、営業力の強化などの回答があった。

悪化要因では、受注の減少や商品の低価格化などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、出荷量増加やコストの削減、売上増加などの回答があった。

悪化要因では、原材料の値上がりや受注の減少、商品の低価格化などの回答があった。

○経営上の問題

人材不足や後継者対策、原材料の品質低下を問題視する声が寄せられた。

**(卸・小売業) 回答：73社中41社、回答率56.2%**

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」2.5% (0%)、「普通」62.5% (50.0%)、「悪い」30.0% (44.1%)、「大変悪い」5.0% (5.9%) となり、DIは▲32.5 (▲50.0) と17.5ポイント改善した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」2.4% (0%)、「普通」56.1% (55.9%)、「悪い」36.6% (41.2%)、「大変悪い」4.9% (2.9%) となり、DIは▲39.1 (▲44.1) と5.0ポイント改善した。

○前年同期比の売上げは、「増加」0% (0%)、「やや増加」19.5% (15.1%)、「変わらない」41.5% (36.4%)、「やや減少」26.8% (36.4%)、「減少」12.2% (12.1%) となり、DIは▲19.5 (▲33.4) と13.9ポイント改善した。

○前年同期比の採算動向は「好転」0% (3.0%)、「やや好転」7.5% (12.1%)、「変わらない」55.0% (42.4%)、「やや悪化」30.0% (36.4%)、「悪化」7.5% (6.1%) となり、DIは▲30.0 (▲27.4) と2.6ポイント悪化した。

**《主な自由意見》**

○昨年同期の売上

好転要因では、営業の強化や販路拡大、大口納品の受注などの回答があった。

悪化要因では、インターネット販売の増加や少子化、核家族化、天候不順、客数減少などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、営業の強化や利益の追求などの回答があった。

悪化要因では、売上減少や原材料の高騰、価格競争による利益率の低下などの回答があった。

○経営上の問題

人材不足や人材育成、従業員の高齢化、得意先の減少、生産性の低下を問題視する声が寄せられた。

他に今後の事業展開や消費増税を懸念する声が寄せられた。

(サービス業) 回答：65社中31社、回答率47.7%

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」6.5% (0%)、「普通」67.7% (52.9%)、「悪い」25.8% (47.1%)、「大変悪い」0% (0%) となり、DIは▲19.3 (▲47.1) と27.8ポイント改善した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」3.2% (2.9%)、「普通」67.8% (50.0%)、「悪い」29.0% (47.1%)、「大変悪い」0% (0%) となり、DIは▲25.8 (▲44.2) と18.4ポイント改善した。

○前年同期比の売上げは、「増加」0% (2.9%)、「やや増加」16.1% (26.5%)、「変わらない」45.2% (35.3%)、「やや減少」29.0% (23.5%)、「減少」9.7% (11.8%) となり、DIは▲22.6 (▲5.9) と16.7ポイント悪化した。

○前年同期比の採算動向は「好転」0% (0%)、「やや好転」9.7% (14.7%)、「変わらない」48.4% (50.0%)、「やや悪化」38.7% (32.4%)、「悪化」3.2% (2.9%) となり、DIは▲32.2 (▲20.6) と11.6ポイント悪化した。

《主な自由意見》

○昨年同期の売上

好転要因では、新商品の推進や昨年は震災の影響があったためなどの回答があった。  
悪化要因では、受注の減少やインバウンド（観光客）の減少などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、稼働率上昇などの回答があった。  
悪化要因では、売上の減少や人件費・燃料価格の高騰、利益率の低下などの回答があった。

○経営上の問題

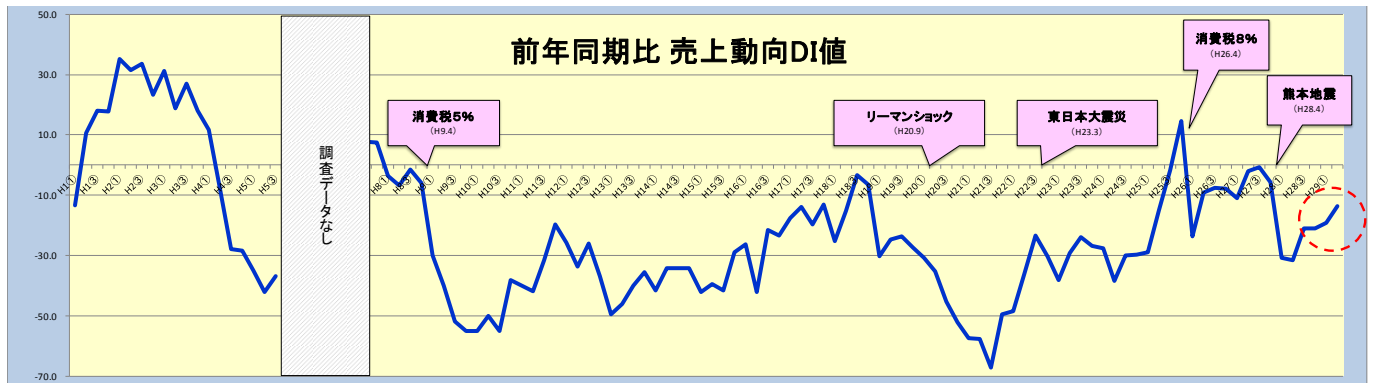
人手不足や人材育成、施設整備コストの上昇、宿泊客数の落ち込み、食材の値上がりなどを問題視する声が寄せられた。

以上

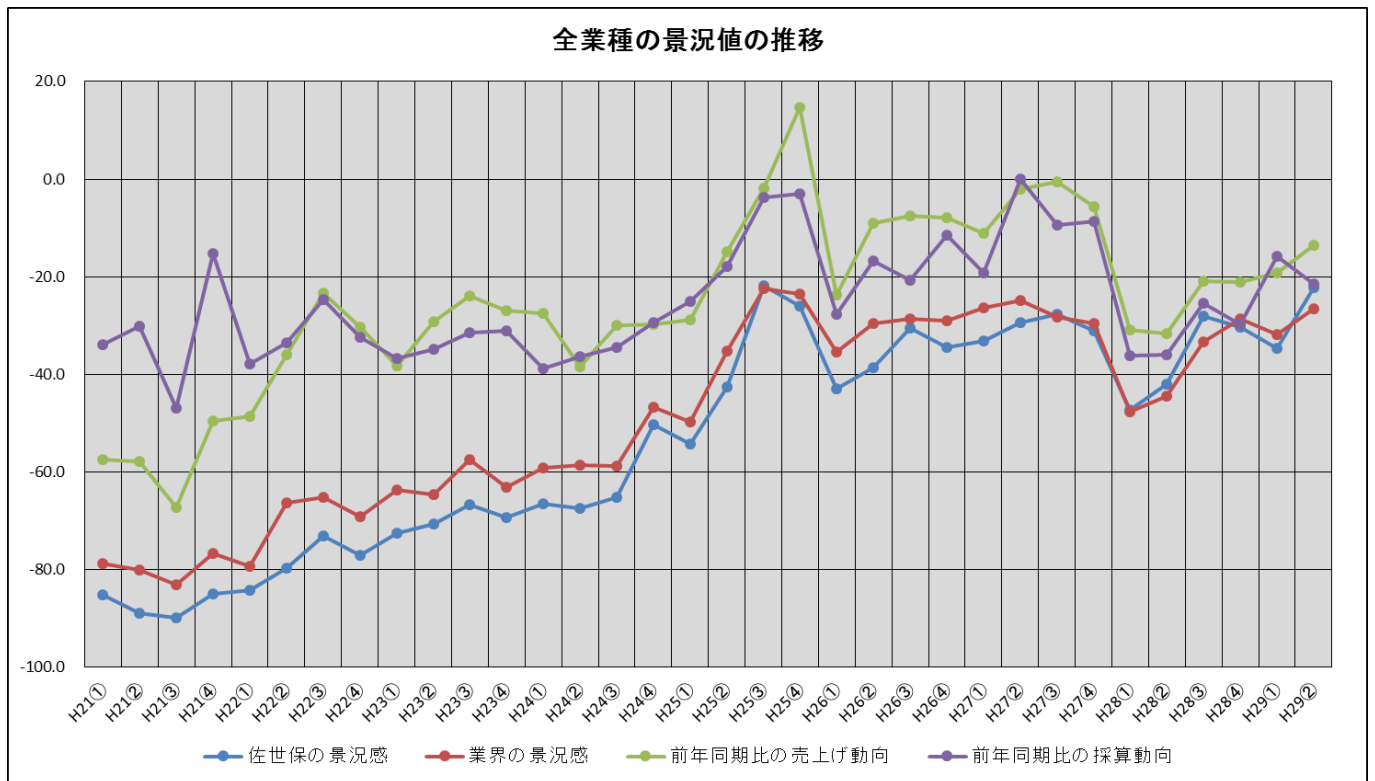


平成 29 年度第 2 四半期 経営動向調査表

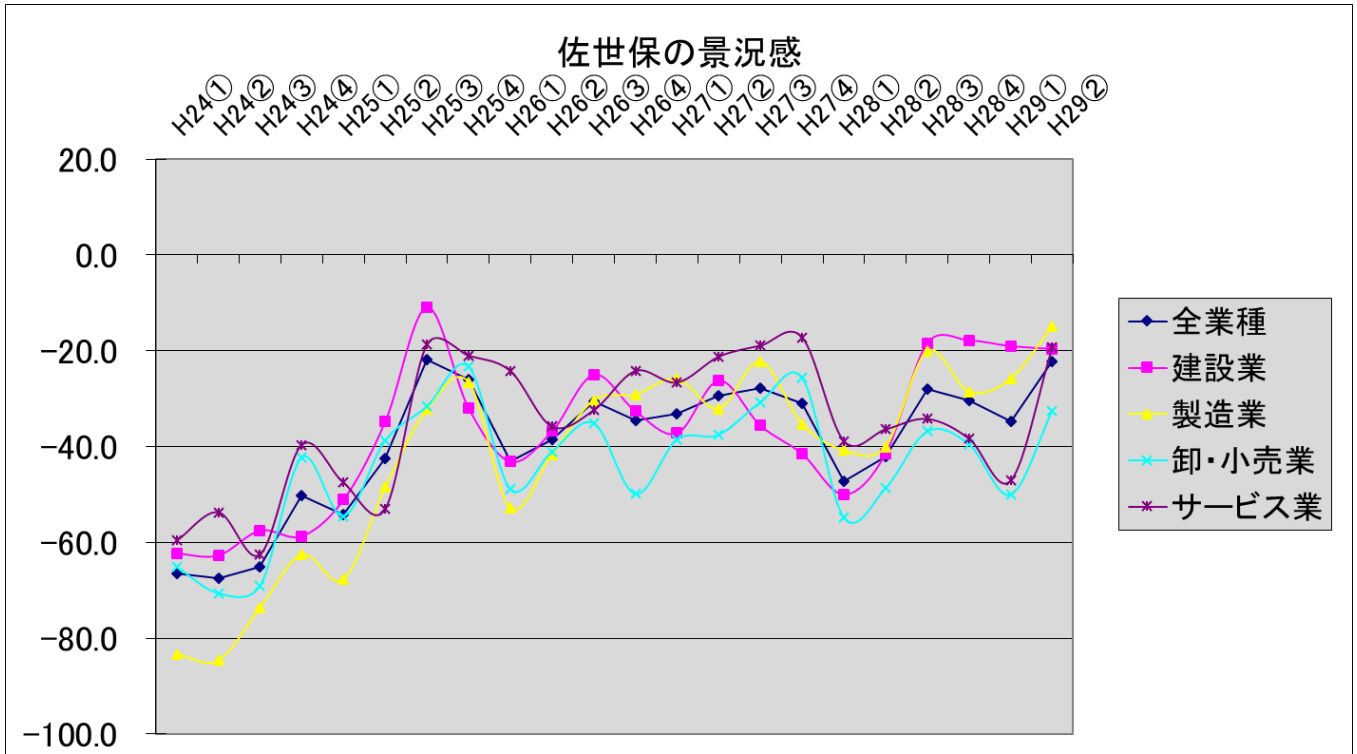
図表 1 - 1 【前年同期比売上動向D I 値の推移（平成元年～）】



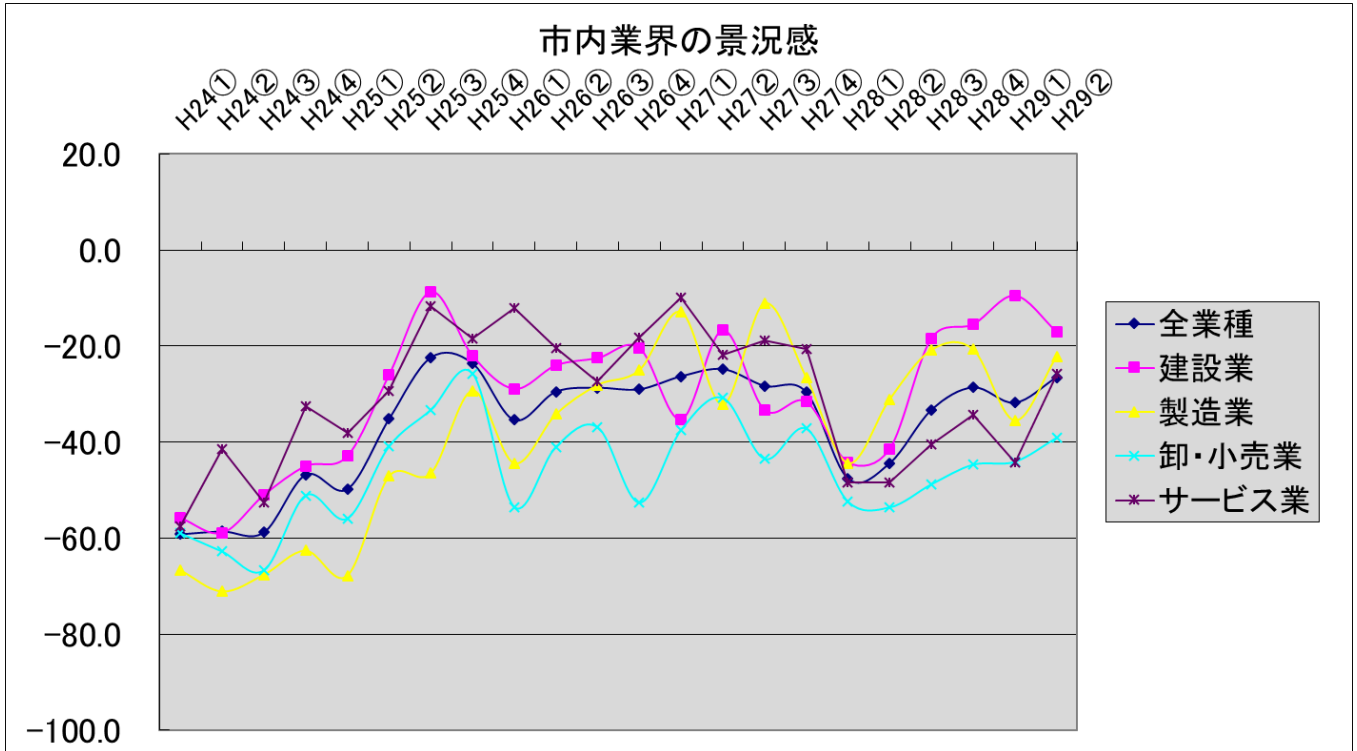
図表 1 - 2 【全業種D I 値の推移（平成 21 年～）】



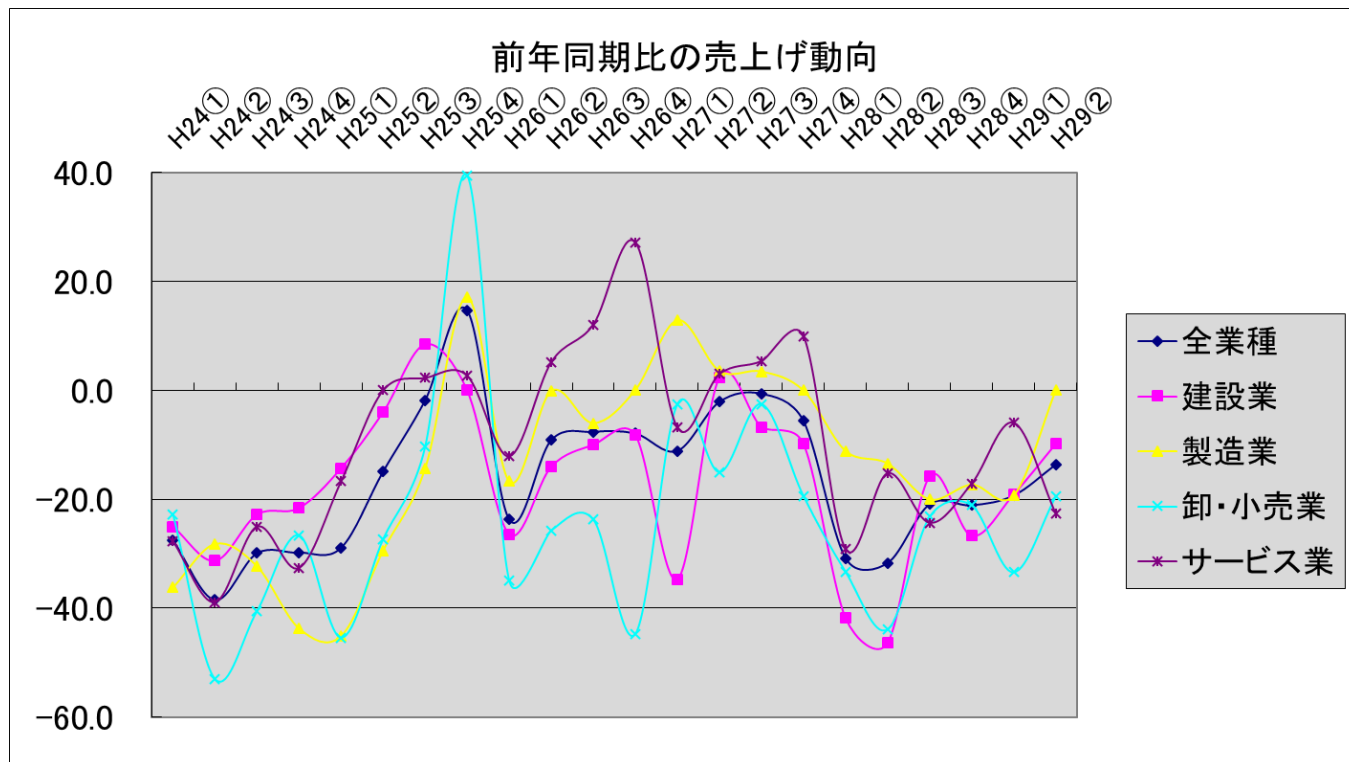
図表 1 - 3 【佐世保の景況感の推移（平成 24 年～）】



図表 1 - 4 【市内業界の景況感の推移（平成 24 年～）】



図表 1 - 5 【昨年同期比の売上動向の推移（平成 24 年～）】



図表 1 - 6 【昨年同期比の採算動向の推移（平成 24 年～）】

